

# 初殻燃製の実験

＜テーマ＞・未来を担う人は、自然の大切さと地域に繁茂・荒廃する竹の有用性を知ろう！

～食につながる持続的な土づくりで有機肥料づくりを深めたい～  
「公益信託大成建設自然・歴史環境基金2025年度助成金による」

期日: 2025-11-27  
場所: 四大・試験農場にて  
実験者: 矢口・加藤・斎藤・太田  
竹粉燃炭(ドラム缶手つくり)  
燃炭づくりの研究会



## 燃製器購入

タンク内に火種を  
(廃材タンク活用)  
作り熱源確保  
(新聞・間伐木材)

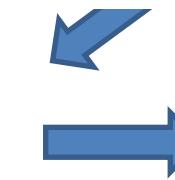


火種を充分確認  
(薪を6本程入れ)  
燃製器を設置  
火傷に注意する  
初殻1回目半分  
入



煙突周囲燃焼し  
黒く焼けたら  
2回目投入し蓋

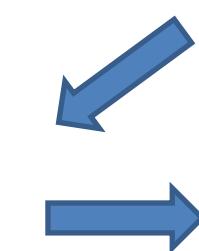




煙突の煙注視  
(白色の煙)  
約4時間、燻製  
蓋外し燻製確認  
(ほぼ黒色で良  
い)  
燻製は量と時間で



煙突の煙白色： 約400度が良好  
透明薄青色は： 500度以上あり



容器内温度： 500度以上



約4時間経過後  
タンク倒して取  
出し  
燻製器取出し  
火傷に注意



タンクの上部  
下部で焼  
ばらつきあり  
かき混ぜ使用  
水シャワー必要  
(火種は残る注  
再度セットし2回目  
(1回 $0.5\text{m}^3$  × 2回)  
燻製炉再スタート

